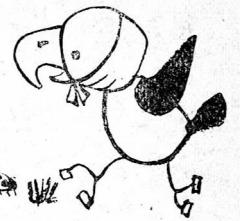


上野幌育種場だより



春以来打続く低温のため、北海道の農作物の作柄はあまり良好とは言えず、冷害という文字が再三ならず新聞紙上を賑わしており、同じく農作業に従事する上野幌育種場としても今後の天候の回復を心から祈つてゐる次第です。それでもアカシヤの花も散り、朴の花の香りもすれゆく七月の中甸ともなれば、採種圃の赤クロババー、アルサイククロババー、スイートクロババー、の愛らしい花盛り、もうすでに結実したオーチャードグラス、チモン、ケンタッキー三一フェスキュ、リードキャナリーグラス、メドウフェスキュなど

の柔かい穂波、キラキラと陽光に輝くたくましい家畜ビートの緑葉などが迫り来る収穫の秋を思わせ、場員の心をいやが上にも奮い立たせずにはおきません。

ここ札幌市の南端野幌の原始林に接する火山灰の高台に、二十三町歩の地積を濃緑のエゾマツの風防林につつま、飼料緑肥作物の品種改良、原種の生産にいそむ育種場員としては、いまが一年中で最も希望に満ちた働き甲斐のある季節と申せましよう。今日は当場の近況を二、三お知らせし、夕涼みへの贈物といいたしたいと思います。品種改良ではすでに当場よりチモシー、

オーチャード、雪印大紫丸カブなどの優良種を世に送り出し、その後引続き飼料作物の優良品種の育成につとめており、本年は緑肥大豆について新しい系統の増殖期に入りました。ここ数年間の生産力検定試験の結果、府県向き、道南向き、及び道北向きなどの教系統をとりあげ、それぞれさらに各地でも試作検定を重ねていますが、当場におけるそれらの生育はいずれも順調で、心からその将来を囑望してゐる次第です。

赤クロババーについては、本年は米国より輸入した炭疽病抵抗性品種ケンランドの増殖期に入り、目下開花盛期を迎えました。が、一面北海道で再三問題になつてゐる銹病の抵抗性品種がいまだないため、数年前よりこれととり組み、本年はどうやらその可能性を確認する段階となりました。なかなか面倒な仕事ではありますが、大いに意氣こんでゐる次第です。

導入飼料作物の成績検定も今年も引き続き実施しており、とくに米国より輸入の飼料作物の新系統二十八種を試作中ですが、いずれも発芽後の生育は順調で、初期の育成からすでに注目に価するものもあり、今後の成績が心から期待されています。一般採種圃ではスイートクロババー、アルサイククロババーが満開期で、蜜蜂の訪花も賑々しく、種子の生産も堅く約束されてゐるようです。いずれも草の生育は素晴らしく、見学者の方々を一驚させており、禾本科の諸牧草も重い穂を波打たせ皆様の御利用をいまからお待ちしてゐるように見えます。本春御好評を戴いた燕麦スワロフステールの原種圃も順調で、その特性を遺憾なく發揮いたしております。

当場のいま一つの仕事としてお知らせしたいのは、果樹苗木の生産と観賞用鉄砲百合の球根育成ですが、苗木は本春の接木により、約十萬本に近いらんご、なし、ぶどう、その他の苗木がいずれも活着よく、旺盛な生育を見せており、とくにりんごの新品種陸奥、恵、レッドゴールド、ジョンレッドなど見事な枝振りを競つております。

なおバイラス無病を目標とする実生増殖の鉄砲百合も優良系統の組合わせが決定し、今春の実生も順調に活着、昨年定植のものは見事な蕾をつけ、清楚な姿を競うの間近いことと思われまます。

先日当場の展示用として設けてある牧草混播圃の刈取りを行いましたので、最後に表示して参考にしてほしいと思ひます。牧草の混播については古くから唱導されておりますが、いまだ単播の傾向が多い現状で、大いに研究を要することの一つで

あります。取量、栄養価、管理などから言つても適地に適牧草を混播することが最も効果的であることを、皆様とともに再確認いたしたいと思います。

温室のメロンの日毎にふくらみ、ダリヤの花が咲き始め、二番草も一廻りし、牧草もあがりまました。暑気加うる折柄、皆様の御健勝と豊作を祈ります。仕事の一段落の機を見て御来場のほどを鶴首しつづ筆を握ります。(なかの)

刈取日	牧草名	反当り(貫)生草量	摘要
六月二十四日	赤クロババー(ケンランド)	六二七	開花
	アルサイククロババー	九〇〇	〃
	スイートクロババー	七三五	未開花
	オーチャード改良一号	六二五	終り花
	オーチャード在来種	五三五	〃
七月七日	赤クロババー、チモシー混播	一一七五	開花期
	赤クロババー、オーチャード改良一号混播	一一八五	〃
	赤クロババー、メドウフェスク混播	九六〇	〃
七月十七日	ルーサン、チモシー、ブROOM混播	七七〇	〃
	赤クロババー、ルーサン、ペレニアアルライグラス混播	八九〇	〃
七月十五日	アルサイククロババー、レッドトップ混播	一一九四	〃
	アルサイククロババー、オーチャード、メドウフェスキュ混播	一一三〇	〃
	アルサイク、K三一フェスキュ混播	一一四〇	〃
	ラデノククロババー、ペレニアアルライグラス混播	一一五〇	〃
七月十五日	アルサイク、バーズフットトリフォイル、ケンタッキー三一フェスキュ混播	一一四五	〃

註 ○ いずれも昭和二十七年春播種。
○ 単作は畦幅二尺の条播。